

NPO法人バンブーまなび塾って 何するところ？

不登校、ひきこもりのその他の困難を抱えた
児童、青少年、家族に対し学習支援、心理相談
居場所等、様々な支援を通じ自立を支援します。



〒222-0003
横浜市港北区
大曾根二丁目34番26号

TEL045-541-3897
メール
bamboombj@gmail.com

バンブーまなび塾って 不登校 ひきこもり とか問題を抱えている人に勉強を教えてくれるんだって！

どんな勉強教えてくれるの？



分からない所からとか、自分の好きな所、やりたい所からできます。

小学校 中学校 高校 高卒認定 大学受験
の勉強も寄り添って一緒にやってくれますよ。

静かな住宅街にあって、親戚のおうちに行くような 雰囲気の入しやすい建物です。

正面玄関



横浜市港北区大曽
根2丁目34番26号

045-541-3897

網島駅 徒歩9分



学習風景



2021年度実績

通信制大学入学 1名
通信制高校卒業 1名
公立高校合格 1名
高卒認定合格 2名
専門学校入学 1名
就労支援B型事業所 1名
就労 1名

英検4級 小学3年生
3人合格

英検3級 中学1年生
中学3年生

今年度実績

大学推薦合格 1名
高校受験準備 1名

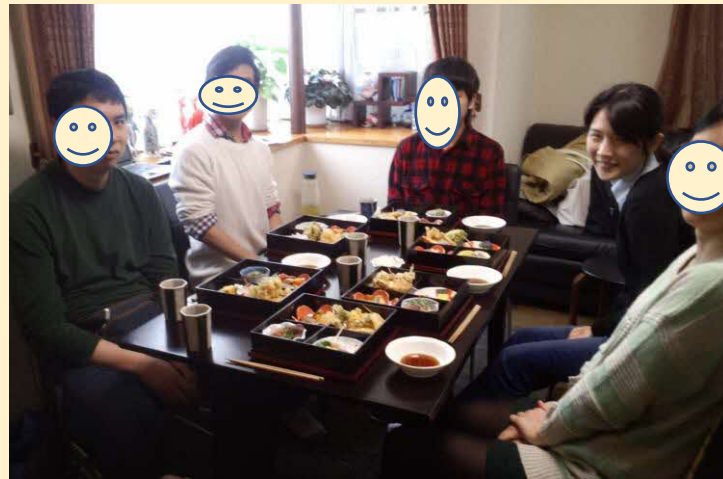
コロナ禍が始まりオンライン授業を始めました。



**でも勉強ばかりではありません。ワクワクする
楽しいことがいっぱい詰まった居場所もあります！
家以外で安心して他者と交流できる場所として
バンブーでは色いろな事をしていきます。**



料理教室



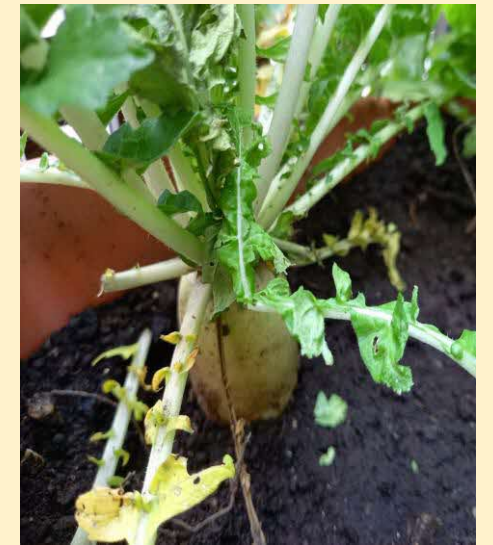
編み物教室



百人一首大会



野菜作り



オンラインでも居場所利用者に、ジェルキャンドル作りを配信し、在宅での参加に挑戦しています。



理科実験教室

炎色反応はオンラインでも実験教室をやりました。



星を観る会と キャンプ、



キャンプの様子

第5回

バンブーまなび塾星を見る会 2020.コロナバージョン

2020年12月20日(日)13:30~16:00

場所 大倉山記念館

主催 NPO法人バンブーまなび塾



講演

星と宇宙の世界を知ろう

講師 岩淵陽太氏

工作

太陽系惑星 模型を作ろう



第6回

バンブーまなび塾 星を観る会 2021.コロナバージョン

2021年12月12日(日)13:30~16:00

大倉山記念館



13:30 「縄文時代と宇宙」

講師 岩淵陽太



14:30 「縄文人の暮らしとSDGs」

講師 芹澤久和

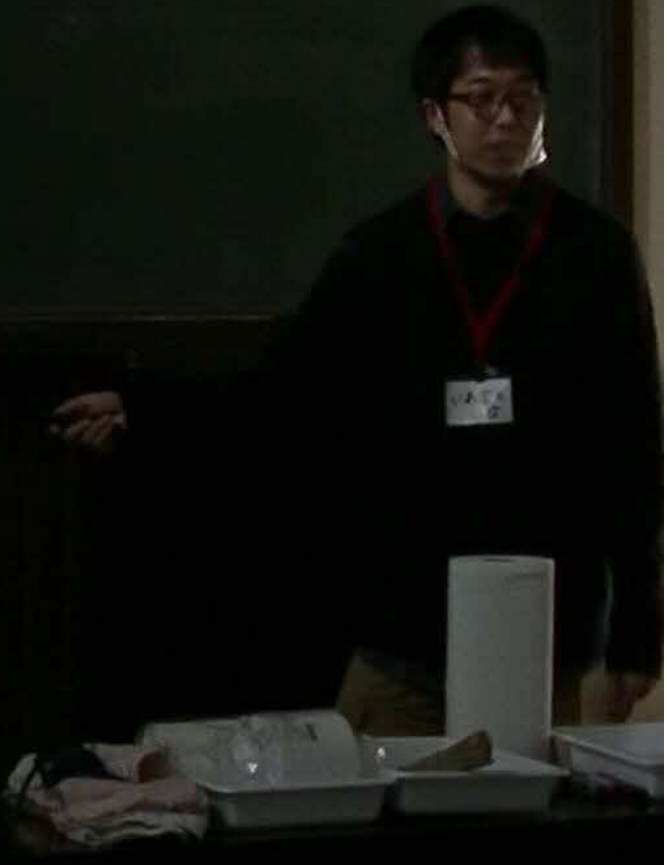
15:00 「縄文土器を作ろう」

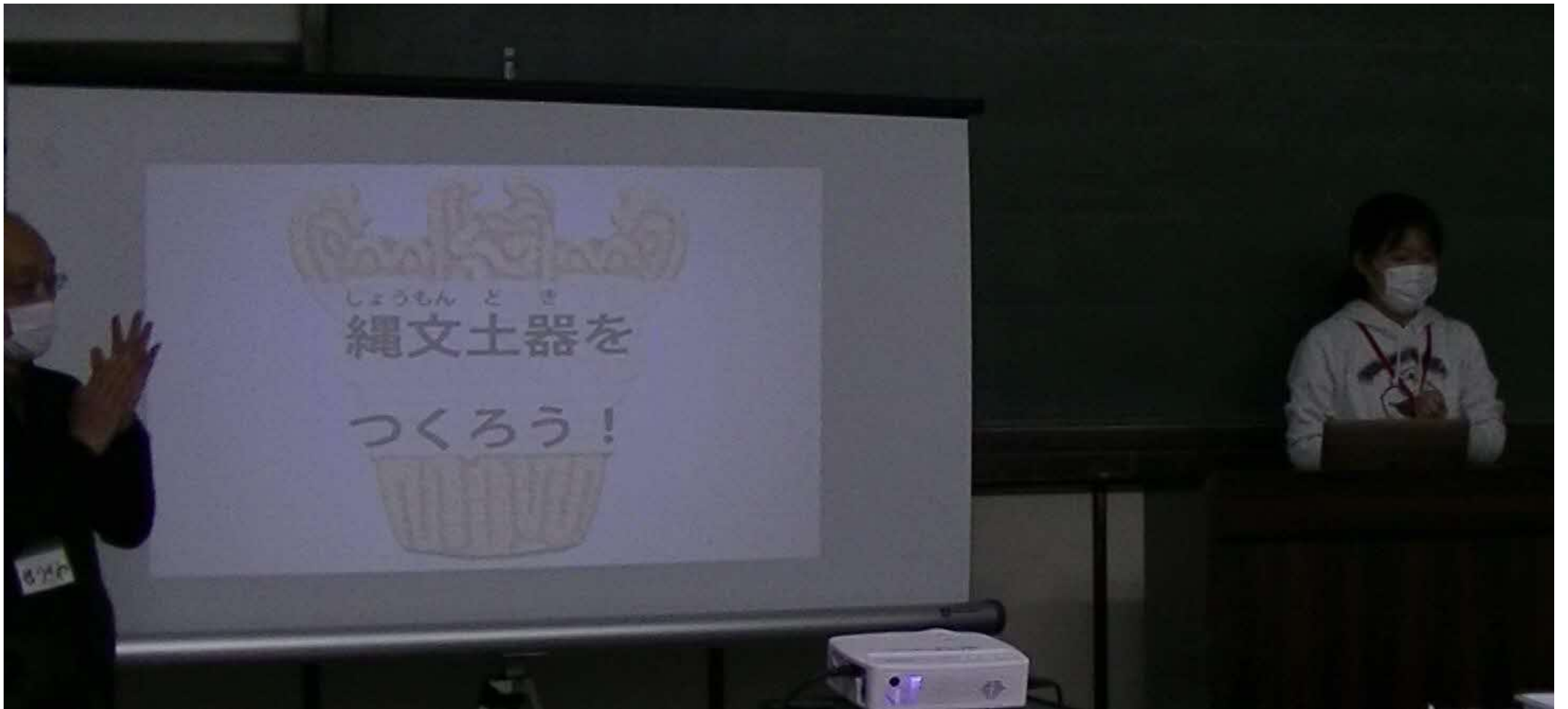


縄文時代の天体 講演

たいよう 太陽 → あんぜん 安全・絶対

にっしょく 日食
ぜったい





星を観る会とキャンプ



茶道教室



親の会 フラワーアレンジ



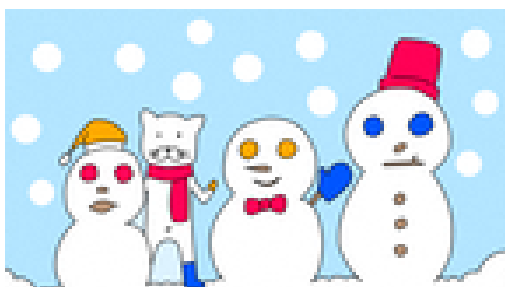
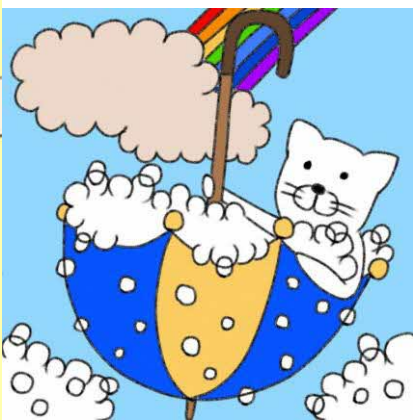
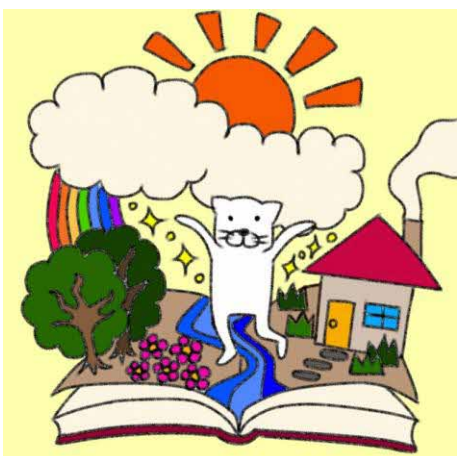
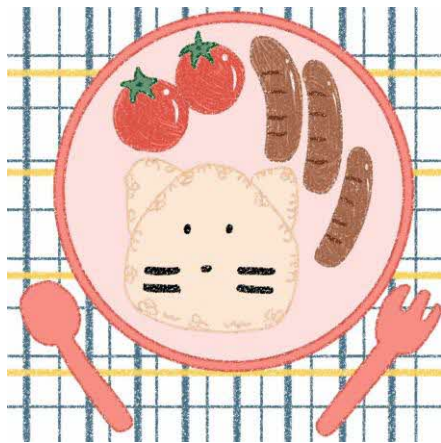
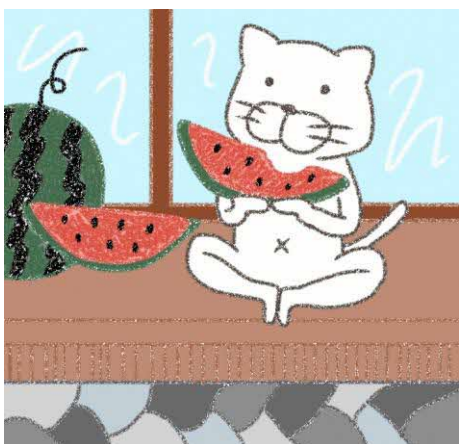
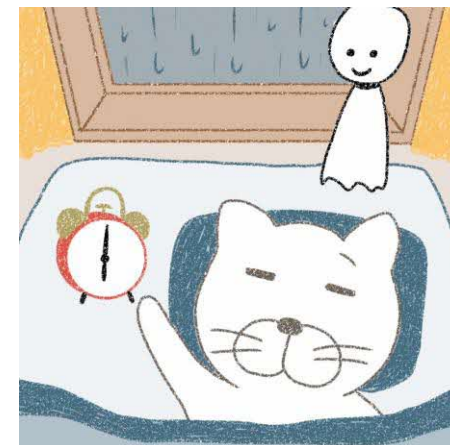
ペーパークラフトクリスマスツリー



SDGs草木染



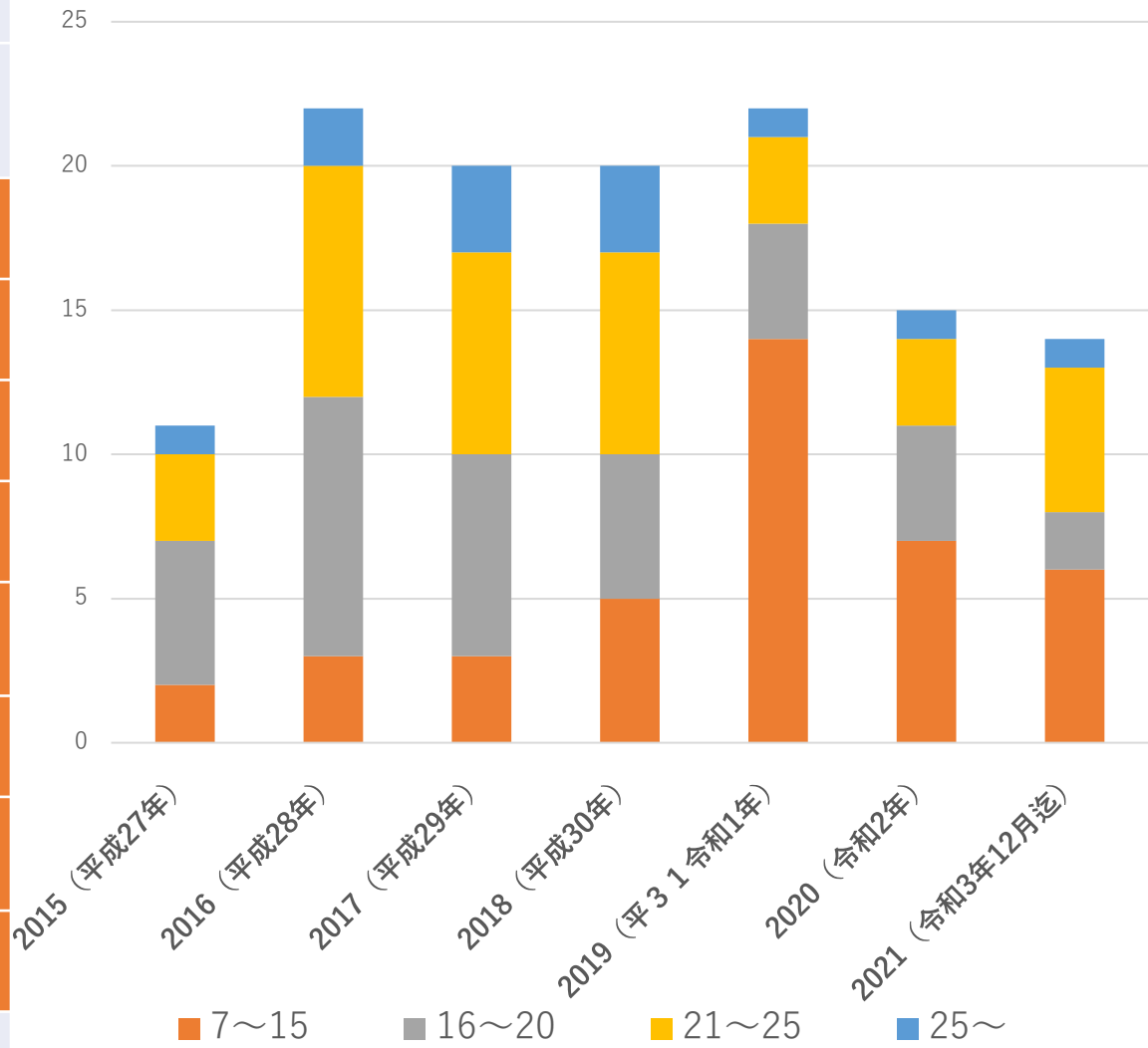
利用者作 イラストカレンダー



設立から7年間の利用者数と年齢

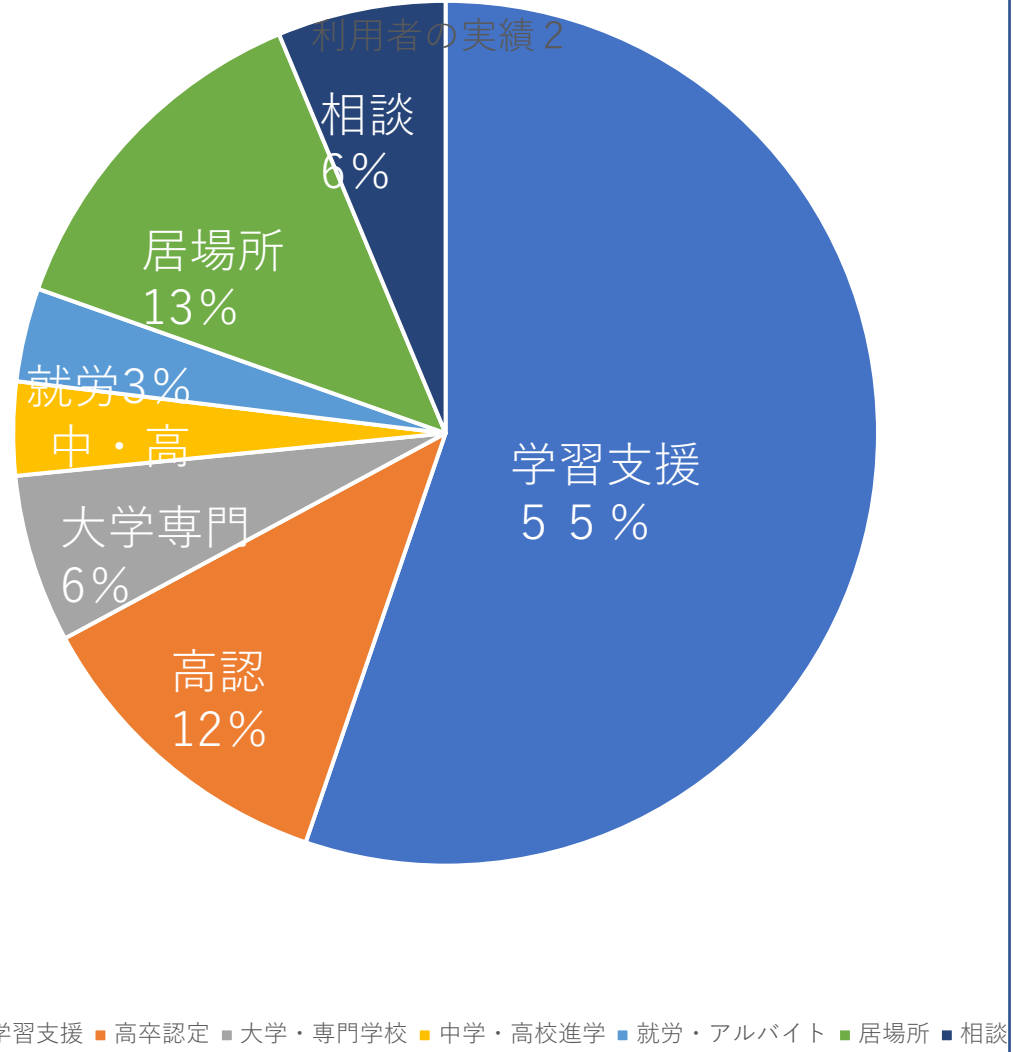
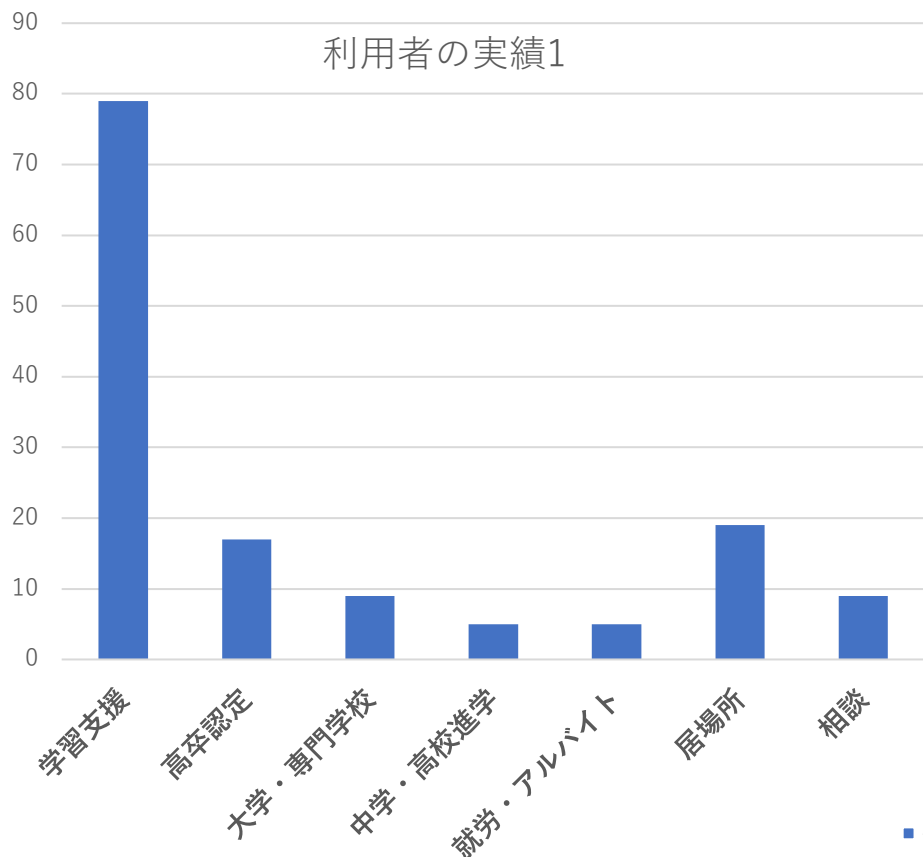
年度	年齢				計
	7~15	16~20	21~25	25~	
2015 (平成27年)	2	5	3	1	11
2016 (平成28年)	3	9	8	2	22
2017 (平成29年)	3	7	7	3	20
2018 (平成30年)	5	5	7	3	20
2019 (平 3 1 年令和1年)	14	4	3	1	22
2020 (令和2年)	7	4	3	1	15
2021 (令和3年)	6	2	5	1	14
	40	36	36	12	124

2015年から2021年利用者数と年齢構成



発足時より現在までの
利用者の実績
(2015～2021延べ124名)

	人数
学習支援	79
高卒認定	17
大学・専門学校	9
中学・高校進学	5
就労・アルバイト	5
居場所	19
相談	9



■ 学習支援 ■ 高卒認定 ■ 大学・専門学校 ■ 中学・高校進学 ■ 就労・アルバイト ■ 居場所 ■ 相談

コロナ時代(2020~2022)の問題と支援について

2020から始まったコロナ感染症対策の影響が今年も続いています。バンブー利用者の方たちに、3年間でジワジワとボディフローが効いてきている感じがしています。

見えてきた問題点

- ・将来の見通しへの不安 孤立感など
- ・外出自粛、マスク着用など行動への影響
- ・家族の収入減、在宅勤務の家族間の緊張
- ・情報の混乱など

色々なことを我慢する日々！

コロナ後の利用者数

2019年迄	22名
2020年	15名
2021年	14名
2022年	11名

コロナ禍で

行動制限

コップの水があふれる直前まで頑張って来所していた利用者が施設の休所や行動制限、感染不安などの外出できない。会いたい人に会えない。等

健康への不安

運動不足、昼夜逆転、ネット依存、コロナ以外の病気でも受信できない。もともと通院していた神経症の悪化 等

経済的な影響

1人親家庭のパート就労の減収。コロナで勤務先が休業。給食がないための食糧の確保 等

社会的な影響

看護師の母親が子どもへ差別を感じた。過剰のマスコミ情報に不安を感じた。終わりが見えない閉塞感と孤立感 等

コロナ禍に直面し 社会的に弱い立場の人はより影響を受け、将来への希望が見えなかったり、生きてる意味が分からなくなったり、孤立感を深めていたいする事が多くなっている。コロナ以前の支援の仕方では足りなくなってきている。

影響を受けている子ども若者の生活に寄り添い話をし、感情を感じ取り、その願いを聴いて1人ではないと、伝えどんな状態でも丸ごと受け止めようとする支援が重要と感じている。例えば「あなたはどうなりたいの?」「バンブーに出来ることは何かある?」等

バンブーまなび塾って 何するところ？



地域で様々な困難を抱える児童・青少年に対し、コロナ時代と向き合い 孤立することなく、生き生きと、自分らしく幸福な人生を歩いて行けるように居場所、学習支援、相談、自立支援など様々なお手伝いをするNPO法人です。

詳しいことはホームページ見てください。

